

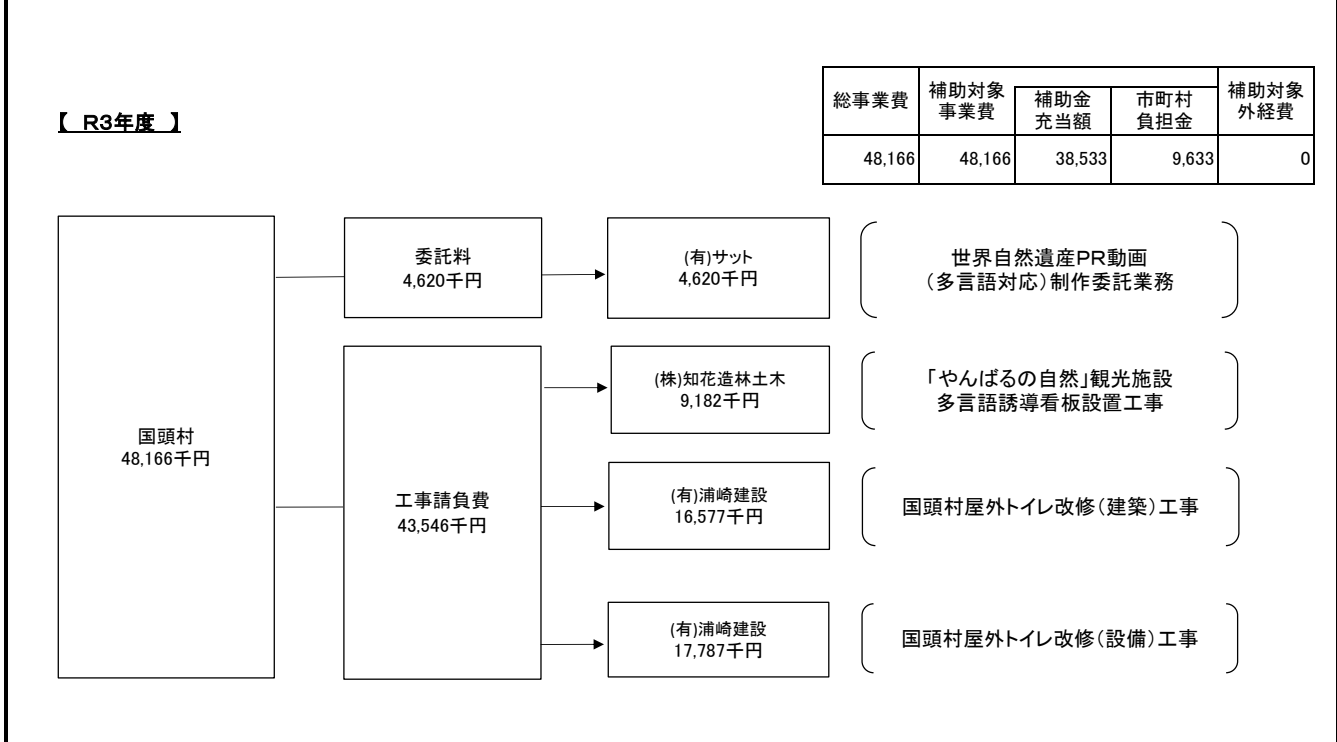
事業主体名		国頭村					
<b>令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村)検証シート</b>							
事業名	「やんばるの自然」関連施設整備事業(やんばる学びの森周辺地域)		担当部署名	企画政策課			
			認定市町村名	—			
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/>	現年事業	事業実施(予定)年度	令和1～3年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input type="checkbox"/>	繰越事業		
事業内容	「やんばるの自然」関連施設への周遊性の向上及び観光消費の拡大を図るため、世界自然遺産登録予定の与那覇岳を一望できるやんばる学びの森等観光施設へのWi-Fi環境の整備や多言語誘導板の設置並びに北部圏域の広域観光情報の発信等に関する取組を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
		当初予算額	4,652	0	21,691	66,561	
		増減額	0	0	0	0	
		予算現額	4,652	0	21,691	66,561	
		前年度から繰越	0	4,652	0	0	
		翌年度へ繰越	4,652	0	0	0	
	計	0	4,652	21,691	66,561		
	執行済額	0	4,320	15,484	48,166		
	うち補助金充当額	0	3,455	12,387	38,533		
	不用額	0	▲ 332	▲ 6,207	▲ 18,395		
執行率(%) (B/A)	-	92.9%	71.4%	72.4%			
予算の状況の説明	R3年度については、当初の計画どおり誘導看板の設置やPR動画の制作、トイレ改修工事を実施し、事業は適正に執行できた。 不用額18,395千円については、主にトイレ改修工事の計画変更(建替→改修)によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
				R1年度	R2年度	R3年度	
	Wi-Fi環境の整備	目標	( 1施設 )	( 3施設 )	( — )	( )	
		実績	1施設	3施設	—		
	観光施設誘導看板の整備	目標	( — )	( 3施設 )	( 5施設 )	( )	
		実績	—	3施設	5施設		
	多言語対応世界自然遺産PR動画の制作	目標	( — )	( — )	( 1件 )	( )	
		実績	—	—	1件		
	観光施設トイレの改修	目標	( — )	( — )	( 3施設 )	( )	
		実績	—	—	3施設		
達成状況説明	○村内観光施設のWi-Fi環境の整備や誘導看板の整備、トイレ改修並びに多言語対応世界自然遺産PR動画の制作について、計画どおり実施することができた。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)
	国頭村の入込観光客数	目標		( 708,738人 )	( 708,738人 )	( 709,000人 )	( 709,000人 )
		実績	661,041人	783,129人	599,102人	662,286人	807,329人
	成果目標(指標)		基準値 (H30年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)
整備する各施設の消費額	目標		( - )	( - )	( 134百万円 )	( 134百万円 )	
	実績	112百万円	116百万円	46百万円	76百万円	132百万円	
進捗状況説明	<p>○令和4年度についてはコロナ禍での行動制限が緩和されたこともあり、入込観光客数807,329人と大幅に目標を達成できた。</p> <p>○消費額については132百万円となっており、達成率は98.5%である。</p>						

取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>○本事業による各観光施設の周遊性の向上やコロナ禍での行動制限の緩和等によって、入込観光客数については目標値を大幅に上回った。</p> <p>○消費額についても、入込観光客数の大幅な増加に伴い、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染防止対策を講じるなど、施設来訪者が安心安全に利用できる環境整備に努める。</p> <p>○SNS等による村内観光施設の情報発信を強化し、観光客へ随時情報発信できる体制を構築する。</p>

今後の取り組み方針
<p>○世界自然遺産登録を契機として、自然を活かした国頭村の魅力を発信し、各施設との連携を図りながら、観光客のニーズに合わせた村内観光周遊プランを作成、提案をすることにより、これまでの通過型観光から滞在型観光への転換を図り、更なる入域観光客数及び観光消費額の増加に繋げていく。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託及び工事施工業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	不用額が生じたが、概ね適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	